



学校だより

平成31年4月26日
横浜市立権太坂小学校
5月号

<http://www.edu.city.vokohama.jp/sch/es/gontazaka/>



運動会はなぜするのでしょうか？

学校長 野口 みか子

5月25日は、子どもたちが楽しみにしている運動会です。

リレーの選手も決まり、連休が終わるといよいよ練習も本格的になってきます。

学級数が減ったことにより、今年から紅白の2色に分かれて競い合います。今まで以上に勝負にこだわり、子どもたちの気持ちも燃え上がることでしょう。また、今年度はマスコットの旗を作成するのではなく、マスコットはみんなの運動会に対する思いを象徴するものとして、応援グッズに載せて、応援の気持ちを盛り上げることにしました。昨年度までとは少し趣向を変えた運動会を、オール権太（児童・教職員・保護者・地域の方々）で創り上げ、子どもたちの大きな成長に結び付けたいと考えています。

さて、例年行われている運動会ですが、なぜ教育活動として実施するのでしょうか。本校では次のような目標を掲げています。

- 運動会を通して、基本的な集団行動を習得し、集団の一員としての自覚を深める。
また、安全に行動できる態度や能力を養うことができるようにする。
- 体育を中心とした学習成果の発表を行うことにより、自分のよさや持っている力を生かしたり、伸ばしたりすることができるようにする。
- 様々な集団の中で互いに関わって活動することを通して、協同して取り組むことのよさを実感する。

言い換えると、勝敗はこの3つの目標に近づくための一つの手立てであるということです。当日を迎えるまで、日々の学習を重ねることで、これらの目標に近づいていくことを実感し、自信となって子どもたちの心を大きくしていくと考えています。その道のりは、子どもにとって決して平坦ではありません。自分の思うように自分の体が動かない、覚えられないと言う壁にぶつかり、投げ出したくなることもあります。そして、何よりも様々な場面で大半の子どもたちは負けを経験します。自分が努力を重ねていればいるほど、悔しくて苦しくてたまらないと感じます。でも、これこそが、本校が目指す「たくましく伸びる権太の子」に近づくための経験であり、運動会を行うわけといてもいいでしょう。頑張っても頑張ってもかなわないことがある。だけど、友達と共に頑張ってもやり抜いたことは悔いが残らない、自分がやり抜いた結果は認めることができる。そのことが子どもたちの心に豊かな栄養を与え、自分自身を誇れると感じられ、次に挑戦する自信を創っていくのだと思います。ご家庭でもどうぞ子どもたちと語り合ってください、自分の目標に向かって努力し続けることに大きな価値があり、精一杯やった結果はどんな経験でも自分を成長させるのだと言うことを伝えて欲しいと思います。

活動の得意・不得意に関わらず、誰もが互いに影響を与えながら、自分の力を精一杯発揮して目標に向かって努力を重ねてきていることを忘れずに、声の限りに応援する態度を育てたいと思います。そして、精一杯に努力することを通して、新しい自分・友達のよさを発見して自分や友達への理解を深めて欲しいと願っています。子どもたちが精一杯努力して目標に向かう姿、協力して運動会を創り上げる姿、集団の一員として自覚を深めていく姿に惜しみない応援をお願いいたします。